



建交労



2021年8月24日

かながわけんなんしふ

建交労神奈川県南支部

2021年夏季闘争 No.11

2020年度推進ニュース③通算230号

発行責任者 佐藤 章

鶴見区労連が8/21 第30回定期大会開催 建交労弥生京極社班は全員で大会出席！

横浜市鶴見区内の労働組合で構成する鶴見区労連（横浜労連傘下）は、8月21日に横浜建設鶴見支部会議室に20名余が出席して第30回定期大会を開催しました。

昨年9月に原班長1名で公然化した神奈川県南支部合同分会弥生京極社班は、当初から鶴見区労連に加盟して団体交渉への支援参加などを受けて今年の夏季一金交渉では弥生京極社ではかつてない成果もあげてきました。

その鶴見区労連の大会に6月～8月にかけて4名に増



主催者挨拶する山崎鶴見区労連議長

えた弥生京極社班の仲間全員（原班長、佐々木副班長、佐藤書記長、岡本会計監査）が参加し原班長が代表して弥生京極社班の結成から今日までのたたかひの経過を報告するとともに、今後のたたかひの決意を表明しました。

以下は、佐藤班書記長から県南支部に報告された原班長の発言要旨です（『自分は1人で組合を立ち上げて一年経ちます。会社とは様々な課題でたたかって行かなくてはなりません。夏季一時金闘争を決着して以降はコロナ感染



議案提案する労連の佐藤事務局長

急拡大の影響もあって団体交渉が出来ていません。今後は労使関係を良くして労働条件を改善して行けたらと思います。企業内組合とも良好な関係をつくりながら建交労組合員を増やして現在は4人になりました。これからは学習もして頑張っていきたいと思っています』）。右写真が発言する原班長

また、佐藤班書記長からは大会に参加した他の組合員から『いろいろと勉強して行かなくてはと感じた』『（鶴見区労連の）皆さんは凄く熱心に取り組まれているのを感じた』『さまざまな団体さんのお話を聞けて良かった』などの感想があったことが報告されました。

地区・地域&県本部・支部・分会大会に結集を

コロナ感染の拡大で9月4日に予定していた神奈川県本部委員会は中止せざるを得ませんでした。今後は地域や地区労連、建交労神奈川県本部、県南支部の大会が準備されていきます。各分会は、それぞれの大会への結集と同時に分会大会の準備を進めましょう。



内閣総理大臣 殿

唯一の戦争被爆国 日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名

いま世界では、核兵器禁止条約の発効から核兵器廃絶へとすすもう、という声があがっています。多くの国ぐにが被爆者の声に耳を傾け、「核兵器による安全」ではなく、「核兵器のない世界による安全」を選択し、核兵器禁止条約を支持し、参加しつづけます。

唯一の戦争被爆国である日本政府は、核兵器廃絶の先頭に立たなければなりません。

国内の世論調査でも、日本が核兵器禁止条約に参加すべきとの声は7割を超えています。日本政府がこの被爆者と国民の声に誠実に応えることを訴えます。

名 前	住 所	募 金

私は、日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求めます。

【取扱団体】

連絡先：署名事務局（原水爆禁止日本協議会）
〒113-8464 東京都文京区湯島 2-4-4
電話：03-5842-6031